



外国語学部の設置に伴ない施設整備も飛躍的に進んでいる。昭和六十三年には図書館の拡充、外国語学部教員の為の研究棟の建設、更に六合館二階部分の拡充及び従来のL1L教室二室に加えCAI・CALL二室の増設、また六合館三階の事務室部分を外国語学部教室として利用するため大改装を行ない、それにもとない希望館(事務棟)を建設するに至った。事務棟一階部分は売店、二階が就職課、学生課、教務課及びキャンパスホールとなっており

キャッシュコーナーも設けられ直接学生と接する窓口部門となっている。三階は総務課、人事課、経理課、管財課、入試課等があり管理部門を集中している。四階は理事長室、学長室等の部屋で構成されている。

留学生の受入れのため留学生の宿泊施設、国際交流会館も建設されている。さらに学生に直接かかわりのある施設として第二学生食堂、二階建て約二〇〇〇㎡の建設が平成三年三月完成を目ざして目下工事中であり、また啓明館

の現在の食堂も大改装を行ない従来とは全く違った新しい内容となっており学生も喜んでいる。また女子学生の増加により、女子更衣室も体育館の北側駐車場に建設され、温水シャワー及びロッカー三百個を備えた施設となっている。

また今後の施設拡充等に関しては、キャンパス整備計画委員会が本年度より発足し、総合的なキャンパスの在り方について計画を策定中である。

法人事務局長 笠原英城



チャペル案内 キリスト教センター主事 林 晃

卒業生の皆さんにチャペルと、そこでの活動をご紹介しましょう。開学以来の念願でありましたチャペルは、卒業生の皆さんから多額の献金をいただきお蔭さまで一九八三年秋に完成しました。落ち着いた雰囲気の中は、九九七本のパイプからなるオルガンや、「希望」をテーマにしたステンドグラスがあります。二十五メートルのタワーからは、オランダ製のベルが朝と昼と夕の三回、美しい音色を響かせています。チャペルは、見て楽しみ、聴いて楽しみ、心を豊かに育てるところです。このチャペルで、学生、教職員を対象にした礼拝をはじめ、オルガンコンサートや宗教講演会が開催されています。コンサートや講演会には卒業生の皆さんも参加していただけます。また卒業生に限り、チャペルでの結婚式にも応じています。くわしくは、チャペル内のキリスト教センター(☎〇五六一・四二・〇三四八)へおたずね下さい。